失敗しない!

ホームページ制作会社の選び方! 自社に合った業者を探そう!



初心者の方にも分かりやすく 解説します!



目次

P3: はじめに

P4:1. ホームページとは?

P4:1-1 ホームページの必要

P6: 1-2 ほとんどの会社が所有している

P7: 逆にホームページが無いと機会損失に...

P8: 1-3 ホームページを所有するには?

P8: (1) 自分で作る (メリット・デメリット)

P9: (2) 業者に頼む (メリット・デメリット)

P10:2. ホームページ業者の種類

P10: 2-1 どんな業者があるのか?

P13: 2-2 注意するべき業者の特徴

P16: 自社に合った業者の選び方

P17:3. ホームページの平均価格

P17:3-1 都心部の平均価格

P18: 3-2 地方の平均価格

P19:4. ホームページ制作の流れ

P25:5. まとめ:自社に合った業者を探そう!

P26: お問い合わせ



はじめに

「ホームページを制作したいけど、どんな業者に頼めばいいか分からない」

「どういう流れで、どのくらいの予算でできるか分からない」

ホームページのことがよく分からなくて、作ろうかどうしようかを迷っている。もしくはこれからホームページの 制作を検討しているという人もいるのではないでしょうか。

こちらの資料をご覧いただき、検討している方に、ホームページ制作についての参考になればと思います。

ホームページをお持ちの方は、「今のホームページはきちんと活用できているかな?」という視点でご覧いただければ幸いです。









1. ホームページの必要性

どうしてホームページが必要なのか?

名刺交換をした際や商品やサービスを探す際に、お相手の会社や商品のホームページを見たりしませんか?

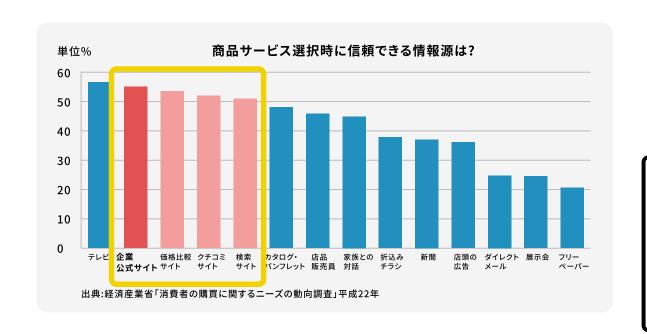
その商品が良くても、その会社の評判が良かったとしても、ホームページを見てあまり好印象ではなかったらどうでしょうか?信用していいのかな、と不安になったりしませんか?

ホームページは会社の顔です。初めて見る人に対して適切な情報を提供し、信頼してもらえるようなホームページを作ることが大切です。



<u>1. ホームページの必要性</u>

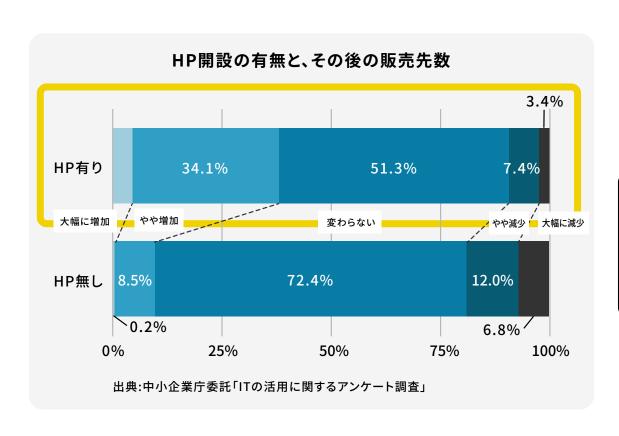
商品サービスの信頼できる情報源の上位にホームページ

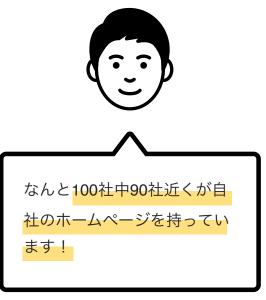




2位 企業サイト、3位 価格比較 サイト、4位 クチコミサイト、 5位 検索サイトとホームページ が上位を占めています。

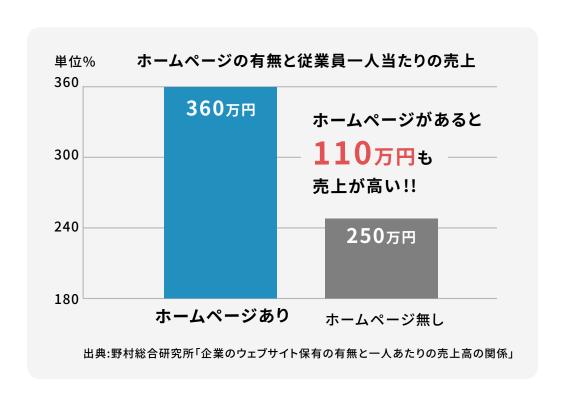
2. ホームページはほとんどの企業が持っています!

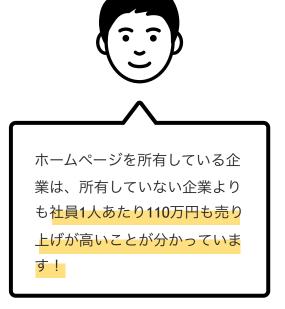




ホームページが無ければ機会損失の可能性大!?

5ページの資料によるとホームページを所有していない企業より所有している企業の方が大幅に入り上げが増加しているという事実があります。





ホームページを所有するには?

(1) 自分で作る

メリット

- 費用が浮く
- 自分で自由に編集できる

(000)

デメリット

- ●構築に時間がかかり事業に充てる時間が無くなってしまう
- ●細かいカスタマイズが出来ない 検索エンジンで上に上がってこない
- ●デザインが素人っぽくなりがち アクセス解析が出来ない
- ●なかなか問い合わせに繋がらず理由も分からない







ホームページを所有するには?

(2) 業者に頼む

メリット

- ●プロのアドバイスが貰える デザインの品質が高い
- ●自由な改修ができる
- 検索エンジンでの対応などができる

5



デメリット

- ●費用がかかる●更新依頼から反映までに時間がかかる
- ●やり取りが面倒





1.どんな業者があるのか?

<u>広告代理店</u>

良い点: TVCM等のマス媒体も含めた全体的な広告展開が可能

イマイチな点: 営業担当者の知識が少なく、個々の品質が低くなりがち

価格が高額になる

営業マンが飲みにばかり誘ってくる



デザイン制作会社

良い点: デザインの品質が高く、パッケージのデザインなども取り扱える

イマイチな点: 売上やマーケティングに対する知識が少なく費用対効果を出しづらい

ホームページの専門家ではないので外注になる場合が多い

広告枠等は代理店に依頼する場合が多い



ホームページ制作会社

良い点: ホームページの品質が高い

イマイチな点:紙のデザインやウェブ広告は外注なので費用がかかる

作るだけで終わってしまい、何年も放置してしまう



デザイン制作会社

良い点: デザインの品質が高く、パッケージのデザインなども取り扱える

イマイチな点: 売上やマーケティングに対する知識が少なく費用対効果を出しづらい

ホームページの専門家ではないので外注になる場合が多い

広告枠等は代理店に依頼する場合が多い



フリーランス

良い点:制作会社より安く頼める

イマイチな点:中規模サイト以上になるとマンパワーが不足して作れない

誰でも名乗れてしまうので、当たり外れが大きい

ホームページを作った後の提案が苦手



2.注意するべき業者の特徴

(1) 格安すぎる

ホームページ制作費用のほとんどは人件費です。格安ホームページはこの人件費を削って制作している場合がほとんどなため、打ち合わせの費用を削減し要望を反映してくれないなどの事態に陥ります。

(2) 打ち合わせで問題点の指摘や提案をしてくれるか

ホームページの知識が無いため業者に依頼しているにもかかわらず、問題点の指摘や提案をして くれない業者は、知識や経験が無い可能性があります。

(3) 制作会社のホームページは充実しているか (実績やお客様の声など)

経験豊富な業者に越したことはないので、制作実績は確認しておきましょう。お客様の声などがあれば、 お客様との信頼関係ができているという証拠でもあるため、チェックする点として視野に入れておくと よいかと思います。

(4) 何が強みか分からない

ホームページを制作する業者にはそれぞれ強みや得意分野があります。「何でもできます」という文句を うたい、よく分からない業者は強みが特に無く特化したものが無い場合がありますので要注意です。

(5) 制作会社というより営業会社っぽい

営業マンが多そうな会社の場合は、ホームページの制作目的や技術よりも<mark>利益を優先した経営をしている可能性がある</mark>ため、セールストークで依頼者を丸め込む可能性があるため気をつけましょう。

(6) 専門用語ばかりで理解しにくい

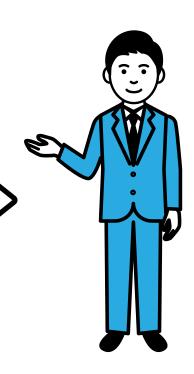
専門用語ではなく分かりやすい言葉で説明してくれる場合は、<mark>依頼者の知識レベルに合わせて対応してくれているため、安心して依頼できる</mark>可能性があります。

自社に合った業者の選び方

ホームページ制作会社によって得意分野は異なります。

目的に合った業者を選ぶようにしましょう。

とくに初心者の方はデザインばかりに重点を置きがちですが、運用サポートはどうか?コミュニケーションが取れて一緒にやっていくことができそうか?要望は聞いてくれそうか?提案はしてくれるか?などをしっかり確認しましょう!



3. ホームページの平均価格

1.都心部の平均価格

ホームページの種類	制作費用
企業サイト(5p~)	500,000円~
企業サイト(20p~)	2,000,000円~
ネットショップ(ECサイト)	1,000,000円~
採用サイト	300,000円~ 1,500,000円
ランディングページ	100,000円~ 600,000円



[※] 内容や制作期間、業者によって大きく異なる場合があります。

3. ホームページの平均価格

2.地方の平均価格

ホームページの種類	制作費用
企業サイト(5p~)	200,000円~
企業サイト(20p~)	800,000円~
ネットショップ(ECサイト)	1,000,000円~
採用サイト	100,000円~800,000円
ランディングページ	50,000円~200,000円





[※] 内容や制作期間、業者によって大きく異なる場合があります。

1 お問合わせ・ご相談

2 初回打合せ・ヒアリング

3 市場調査・マーケティング

4 企画立案・お見積提示

5 仕様策定・コンテンツ作成

6 デザイン

7 コーディング

8 CMS導入・システム化

9 最終確認・公開

10 ホームページ運用

1 お問合わせ・ご相談

まずはお電話またはメールにてご相談下さい。この段階では「ホームページについて詳しく知りたい」 というレベルの細かなもので結構です。一つ一つの疑問に丁寧に回答させて頂きます。

2 初回打合せ・ヒアリング

より具体的なご説明が必要な場合や、お見積がすぐに欲しいという場合には、実際にご挨拶に伺って お客様のことや、イメージしているホームページ像、実現したいこと、ご予算などをヒアリングさせ て頂きます。

3 市場調査・マーケティング

弊社でお力になれそうな場合は企画フェーズに移ります。まずお客様の現状、競合他社の状況、エンドユーザーのニーズ等の大まかな調査を行います。その上で、誰をターゲットとして、何をゴールに設定するのかを明確にし、ポジショニングを行います。

4 企画立案・お見積提示

お客様の問題を解決するための企画を立案いたします。ホームページの方向性やページ構成をこの時 点で明確にすることで、正確なお見積金額を算出することができます。 場合によっては数パターンの 企画・お見積を提示させて頂き、最終的な判断をお願いする場合がございます。

5 仕様策定・コンテンツ作成

ページの中身であるコンテンツの文章やレイアウト、細かな使用感などを磨り合わせ、ワイヤーフレーム (ページの中身を単純な線やグラフ、テキストで表現したレイアウト図の事)を作成していきます。 コンテンツの内容はお客様に考えて頂くか弊社でライティングを行います。

6 デザイン

出来上がったワイヤーフレームを元にWebデザインに入ります。デザインは印象を左右する重要な工程になりますので、他のサイトやデザインを提示しながら、イメージを細かく磨り合わせ進めていきます。

7 コーディング

デザイン段階ではただの画像だったものを、実際に動くホームページに変える作業がコーディングです。 黒くて文字と記号ばかりの画面でデザインを一つ一つ「動くホームページ」に変えてきます。いつもは 当たり前にクリックしているボタン一つでも、実はコーディング段階で「ここはリンクがあるボタンで す」という事を一つ一つ指定しているのです。

CMS導入・システム化

コーディングと合わせて行うのが、CMS(コンテンツ・マネージメント・システム)と呼ばれる管理ソフトを導入する作業です。ホームページ上でお知らせやブログを簡単に更新したり、商品一覧を追加・削除したりすることは、通常とても大変な作業になりますが、CMSを使えば、タイトルと本文を入力して公開ボタンを押すだけで、簡単に記事や商品などホームページの更新をすることが出来るようになります。なるべくお客様ご自身で更新したい場合はこの仕組みを導入させて頂きます。

9 最終確認・公開

テスト環境にて最終的な確認を行って頂き、問題なければインターネット上に公開いたします。公開 時にも様々な作業が発生するため気を抜けない工程になります。

10 ホームページ運用

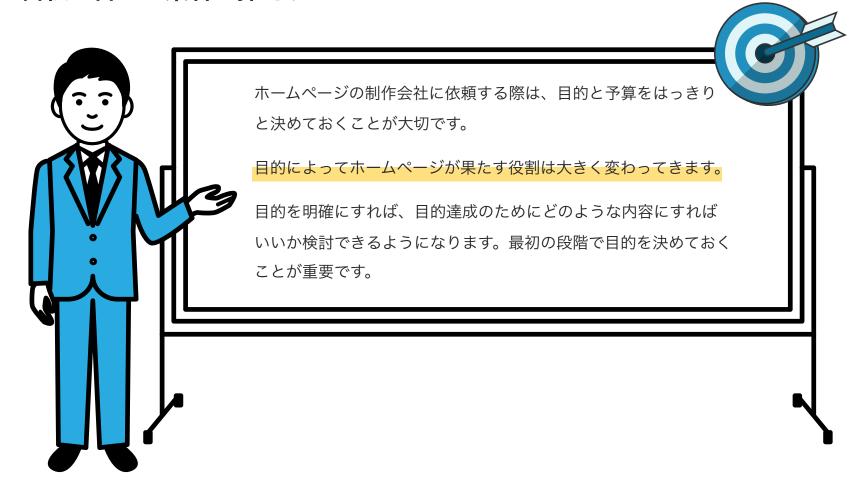
公開して終わりですと、どんどん情報が古くなっていき、死んだサイトになってしまいます。そうなるとアクセス数(ホームページへの訪問数)が落ちるばかりか、間違った情報が掲載されっぱなしになる事がございます。効果検証が必要な場合は専用のツールを導入し、PDCAサイクル(Plan-計画、Do-実行、Check-評価、Action-改善)を回転させることが最も重要です。

成果を出すためにしっかり 運用していきましょう!



5. まとめ

自社に合った業者を探そう!



お問い合わせ

ホームページ制作についてのお問い合わせは、 下記からお気軽にお問い合わせください!



アダプター株式会社 ホームページ

メール: <u>info@addapter.co.jp</u>

お電話: 050-6865-7977

ホームページ: https://addapter.co.jp/

26

会社概要

会社名 アダプター株式会社 設立 2018年3月16日 資本金 100万円 小副川 貴博 代表取締役 ■Web事業 ホームページ制作、システム開発、運営、マーケティング、web広告運用 ■紙媒体事業 事業内容 ロゴマークデザイン、チラシ・ポスターデザイン、パンフレットデザイン、 看板デザイン、パッケージデザイン、キャラクターデザイン その他各種デ ザイン